

日本・インドネシアのアマチュア無線・相互確認に向けて、これまでの経過（文責：宮村和夫）

1994年 ジャカルタ在住（当時）の JA1CMD 宮森氏が相互確認協定実現のための手順書を作成

2001年 JA8VE 齊藤氏がジャカルタ勤務を開始、相互確認協定実現の努力を開始。

2003年 郵政省（当時）が口上書（インドネシア主管庁への申し入れ）を作成
齊藤氏インドネシア離任。

2009年 インドネシア通信省がアマチュア無線免許に関する新規則（8月）
発起人がインドネシア着任（10月）

JF10CQ 三宅氏の「DX バケーションホームページ」を読んだ発起人が JA8VE 齊藤氏に連絡（11月）

米エキストラ級からの YB 免許書き換えを希望し発起人が ORARI 本部を訪問するが、国籍条項で断念。その際 YB0AZ・Wisnu 氏より日・イ相互確認の提案を受ける（12月）

2010年

1月 発起人が JARL 国際課に日イ間のアマチュア無線資格の相互確認について問い合わせ
齊藤氏と発起人が E メールで連絡を開始～本プロジェクト立ち上げ
JARL がイ通信省と ORARI 会長宛に相互確認協定に関する書簡（要望）を発送（29日）

2月 JARL と ORARI が本プロジェクト後援を決裁。
ORARI 代表団が日本大使館を表敬訪問し前田公使に嘆願書を手交（19日）。写真
本プロジェクトのウェブサイト公開（11日）

3月 ORARI がイ通信省、イ外務省、塩尻日本大使宛に嘆願書を郵送。
在日インドネシア大使館が ORARI に問い合わせ（2日）
JARL が ORARI からの返信を受領（10日）
発起人が JARL 国際課を訪問（24日）

第1回日本側打合せ（表世話人、発起人、広報）（29日東京・田町）

4月 イ外務省が日・イ相互運用確認の推進を決定、右についてイ通信省へ通知。

5月 イ通信省と ORARI が会合（12日）

6月 イ通信省がイ外務省へ口上書（日本政府への申し入れ文章）のドラフトを发出。
イ外務省内で決済中（7日現在）

7月 第2回日本側打合せ（於東京、日程調整中）

8月 ORARI 代表団とイ通信省担当官（予定）が JARL 及び総務省を表敬予定（23日）